

もりただより

vol.28

発行責任者
森田 卓司
岡山市北区建部町
大田 4750-20
TEL:086-722-2237
(FAX 兼用)
TEL:086-722-9900
事務所 FAX:086-722-9911

発行年月日 '22.3.31

未来へ躍動する

桃太郎のまち岡山



ご挨拶

春暖の候、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、新型コロナウイルス (COVID-19) 感染症は現在でも拡大傾向が続いています。

今後も感染拡大防止対策は勿論の事、皆様方が安心して日常の活動が出来る事及び社会経済活動の回復に向けての対策が必要です。

岡山市議会でも感染拡大を受け、令和3年8月定例会以降開催の議会については、感染防止対策の議論を重ねた運営になりました。

また、令和4年2月定例会会期中の2月24日にロシアはウクライナへの侵略を開始しました。

岡山市議会は、ロシア軍による侵略を強く非難する。ウクライナの平和を取り戻すことを強く要請する(決議文を引用)「ロシアによるウクライナ侵略を非難する決議」を3月3日に全会一致で可決しました。

令和4年2月定例岡山市議会へは、3期目の当選を果たした大森雅夫市長にとって最初の当初予算が提案されました。

自由民主党岡山市議団 新政会が政策提言をしていた、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策・コロナ禍での経済対策・鳥獣被害対策の推進・米価下落対策・道路整備の充実と機能強化・活力のある農業振興・消防団員の処遇改善他、多くの項目が予算化されました。

今後も、市民の皆様方との対話で頂いたご意見を市政に反映する事で、それぞれの地域に活力を創造していく所存です。

引き続きの叱咤激励、ご指導ご鞭撻の程よりしくお願い申し上げます。

令和3年度自由民主党岡山市議団新政会政策提言に対する回答(抜粋)

住宅リフォーム助成制度の制定

空き家を生まない観点、移住者やUターン者の促進の観点、低炭素社会を目指す為の低炭素住宅の促進の観点、中小・小規模事業者への経済波及の観点、建築技術の次世代継承の観点など多くの観点から住宅リフォーム助成制度制定すること。

回答

・移住者二拠点移住を対象とした、住宅の購入・リフォームの補助制度を創設する。

(1) 購入をする場合 上限30万円

(2) リフォームをする場合 上限20万円

・空き家の適切な管理の促進を目的として助成制度を実施している。

(1) 一般リフォーム 上限50万円

(補助率1/3)

(2) 地域活性化リフォーム 上限150万円

(補助率2/3)

子ども医療費の医療費軽減に向けた目標設定

岡山市における医療費助成は就学前を無料化し、小学生は一割負担、中学生は二割負担となるよう助成していますが、更なる充実をはかり新たな目標設定をすること。

回答

子ども医療費助成の在り方については、医師や保護者などの意見を参考にしながら、令和4年の上半期までには方向性を決定したい。

鳥獣被害対策の推進

農作物被害額がここ数年急増していることから、本市はその要因等を把握するために令和元年度より被害実態調査を行っていますが、今後継続して調査していくこと。

令和3年8月定例岡山市議会が8月31日から9月16日までの17日間の会期で開催されました。令和3年11月定例岡山市議会が11月30日から12月21日までの22日間の会期で開催されました。令和4年2月定例岡山市議会が2月18日から3月15日までの26日間の会期で開催されました。

回答

令和元年度より実施している岡山市野生鳥獣被害実態調査を踏まえ、令和3年度からは、モデル実証地区において専門家による支援を実施している。令和4年度も引き続き実施する。

消防団員の処遇改善

総務省は消防団員の処遇等に関する検討会を開催しています。これは団員減少に歯止めをかけた、など多くの要因を受け、少しずつですが進んできた話です。岡山市も『出勤手当・年額報酬・団運営必要経費など』について再度検討すること。

回答

日本各地で災害が多発化・激甚化しているなか、地域防災力の要となる消防団員の数は年々減少傾向にあります。国の方針をふまえ、本市においても、団員確保につながるよう、出勤手当をはじめ処遇等の改善について検討している。

※2月定例岡山市議会 自民党新政会の代表質問に対して、報酬等の処遇改善等の具体的な答弁がありました。



令和4年2月定例岡山市議会個人質問

令和3年11月定例岡山市議会代表質問

- 1 市長の政治姿勢について
- (1) 今後の市政運営等について
- 2 財政の健全化について
- 3 周辺地域の活性化について
- 4 岡山城主要部跡地の整備について
- 5 池田動物園など岡山駅西エリアのにぎわいについて
- 6 新庁舎への建て替えについて
- 7 岡山芸術創造劇場について
- 8 マイナバーカードについて
- 9 文化・芸術・スポーツの振興について
- 10 岡山連携中枢都市圏の交流について
- 11 市立美術館の新設について
- 12 区づくり推進事業の強化について
- 13 グローバル人材育成について
- 14 新型コロナウイルス対策について
- 15 子育ての支援について
- 16 認定こども園や保育園などの安全確保について
- 17 脱炭素社会に向けた取組について
- 18 ごみ処理について
- 19 岡山市の農業政策について
- 20 鳥獣被害対策(イノシシ対策)について
- 21 土地利用について
- 22 空き家対策について
- 23 道路整備について
- 24 周辺地域の回遊性の向上について
- 25 立地適正化計画について
- 26 桃太郎線LRT化について
- 27 公共交通の活用について
- 28 下水道管の不具合による道路陥没について
- 29 内水浸水対策について
- 30 GIGAスクールについて
- 31 岡山市地域協働学校運営協議会について
- 32 通学路の安全確保について
- 33 選挙について

令和4年2月 定例岡山市議会
自由民主党岡山市議団新政会代表質問

今後の市政運営等について

Q:森田 卓司

一定期間で実際に岡山市の隅々まで見て回することは選挙以外ではなかなかないと思う。

4年前に比べてどのよう感じられたか、率直な御意見を。

A:大森雅夫市長

選挙前、各地域を回らせていただきました。2期目のときと大きく違ったのは、新型コロナウイルスの影響があったと思います。それぞれいろいろな地域、そして各世代の方とお話しさせていただきましたが、この新型コロナウイルスについても感染拡大防止のさらなる徹底という方と、それから経済活動をもう少し動かすべきではないかというような考えの方、様々な考えの方がおられたというのが特徴的だったと思います。非常に振幅が大きい課題だなと感じました。

Q:森田 卓司

中心市街地及び周辺地域で市民の方から様々な御意見を聞かれたと思います。感想をお聞かせください。

A:大森雅夫市長

岡山市を回っていく中で、中心部、郊外、田園地帯、あと沿岸部、中山間、日本全体の縮図的なものが岡山市に存在しており、各地域、各ジェネレーションによって様々な課題、多岐にわたっていると感じた。その中でもまちづくり、経済、子育て、健康福祉、安全・安心等、施策全般の大きな方向性については評価、御理解いただいたものと私としては感じている。

一方で、森田議員も御指摘をされましたが、必ずしも政策の意図などが十分に伝わっていないというような御指摘あった。



財政及び政策の勉強会を行っている
自由民主党岡山市議団 新政会

特に市民の方々からもそういう話はありましたが、各報道機関からも御指摘があった。所信でも申し上げましたけど、情報発信はもう少し見直さなくてはと認識した。

市民と直接対話する機会がこの新型コロナウイルスの関係で随分減りました。イベントに行つて市民の皆さん方と話をすると、この機会さえなくなってきた。これはこの2年間非常に大きかった。うなずいておられる市議の皆さん方多いわけでありすが、これは私としても痛感している。この新型コロナウイルスが収まって、今オミクロン株の話もあるが、収まってくれば当然ながら様々な機会を捉えて市民の声を真摯に受け止める。

今回多くの市議の皆さん方と一緒に選挙で行動をした。市議の皆さんが市民の声を本当によく聞いていることは、私としてもこの選挙戦を通じてより理解を深めることができた。我々がどういう意図を持ってやっているのか、どういう将来像を持っているのか、市議の皆さん方とともにこれから発信していければと思っている。

Q:森田 卓司

11月19日に岡山市役所で伊原岡山県知事と大森市長の懇談会が開催されました。どのような議論がされたのか。

A:大森雅夫市長

まず市民の皆さん方のよりよい住民サービスを実現するために、基礎自治体優先の原則を踏まえた市と県の役割分担の在り方について議論した。

一つは、義務教育であります。これは市町村の施策、考え方が優先されるべきであります。岡山市の場合は指定都市として教職員の給与負担、また人事など全てを担っている。それにもかかわらず、県の計画の数値目標等は設定の考え方等について我々との事前協議が十分に行われないうままつづられ、それを岡山市も含んだものとして言われることがある。したがって、その整理が必要であると思つている。

私としては第1期の総合教育会議での大綱、これはうまくいったという認識を持っておりです。

最大の要因は何なのかというと、教育委員会、そして学校側、校長、各先生、これらが一体となつて一つの目標に向かつて取り組んだ、その成果だと思つている。したがって、各学校の皆さん方にはすっきりした目標を提示する、それが必要ではないかと思つた。

お互いの考え方が整理できるのであれば整理していこうという方向でお互いの総合教育会議に、私は県の総合教育会議に出席し、知事は我々の総合教育会議に来てお互い調整できるものは調整していこうという考え方で合意した。

次に、建設事業負担金についての議論をした。幾つかの例示はあるが、今回例示として出したのは都市計画事業です。これは県の条例で岡山市の負担は50%と定められている。47都道府県がどうか調べた。この50%は他の46の都道府県と比べ突出した高い割合であり、私としては受益の限度を超えているのではないかと思つた。改めて負担の在り方について議論すべきだということと、事務レベルの協議を行うことになつ

た。この点については来年度予算にも関わるので、早急な議論が必要だというお互いの認識になったと理解している。

また、来年度予定されている岡山芸術交流やデスティネーションキャンペーンは、新型コロナウイルスにより大きな影響を受けた観光の復活のためにも最大限の効果をもたらすべきだと思つている。そこは市と県と一緒に連携しながら行動する。これについても合意した。

今後の連携の問題でありますけれども、岡山市民は同時に岡山県民であります。そういう視点から、お互いが適切な役割分担の下、住民サービスの向上を目指していく、これは必須だと思つている。

Q:森田 卓司

政府は最大級の2021年度補正予算案を示しています。岡山市は的確な情報収集等を行うことにより、経済対策等の予算編成につなげることが必要になる。

2021年度補正予算、2022年度当初予算について、現時点での御所見を。

A:大森雅夫市長

このたびの国の経済対策で新型コロナウイルス感染症の拡大防止、また未来社会を切り開く新しい資本主義の起動など、4つの柱に基づき、いわゆる16か月予算の考え方により、令和4年度当初予算と一体編成し、切れ目なく万全の財政政策を実施する。

この中で、地方公共団体に対しても独自の地域活性化策などを円滑に実施できるように、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金などの増額が予定されている。この財源の活用を念頭に置きながら、新型コロナウイルス感染症拡大防止の対策に万全を期しつつ、社会経済活動の再開、回復に向けた支援策のほか、喫緊の課題である防災・減災、国土強靱化に資する事業にも積極的に取り組んでいきたいと思つています。

また、当初予算は今後の議論でございます。

すが、この新型コロナウイルス感染症への対応を継続しつつ、DXやゼロカーボンといった新たな課題への対応など、様々な形で真に必要な事業に取り組む。

レンタサイクルの導入について

Q: 森田 卓司

周辺地域のJR駅周辺にレンタサイクルを導入するべきではないか。

A: 都市整備局 都市・交通・公園担当局長

周辺地域への観光等で来訪された方々の移動手段を確保するため、鉄道駅へレンタサイクルを導入することは有効な施策の一つであると考えている。しかしながら、レンタサイクル導入に当たっては、ニーズの把握やスペースの確保とともに運営形態、収支などについて十分に検討する必要がある。まずは駅周辺に観光地等を有する鉄道駅について、ニーズを把握することから始める必要があると考えている。

通学路の安全確保について

Q: 森田 卓司

令和3年7月に、これまでの安全確保対策等について速やかに検証し、通学路の危険箇所等の再点検をされるなど、必要な対策内容を検討し、早期の対策を実施する要望書を提出しています。

合同点検の結果及び横断歩道や一旦停止の路面標示が劣化による剥がれ等によって見えにくい箇所が多くなっている。子どもたちの安全な登下校を確保するため、運転者等が確認できるよう早期に修繕するべきではないか。

A: 教育長

全ての小学校を対象に学校から危険箇所として報告された425か所の合同点検を実施いたしました。その結果、教育委員会はその結果、安全指導や通学路の変更を促すなどの対応をしている。路面標示や横断歩道の塗り直しなどが必要

となる137か所につきましては、道路管理者、警察が対応する予定である。引き続き、安全指導を行うとともに道路管理者、警察等と連携し、定期的な合同点検を実施するなど、子どもたちの安全な登下校に向けて取り組む。

令和4年2月定例岡山市議会個人質問

活力のある農業振興について

過疎地域に指定されている建部地域のみを対象としていた中山間地域等直接支払制度緩傾斜農用地の取扱いを市内対象地域に拡大し、中山間地域の農業生産活動を支援する拡充予算(案)が中山間地域の農業生産活動への支援として提案されています。

Q: 森田 卓司

どのような経緯で制度変更を行うことになったのか?

A: 大森雅夫市長

中山間地域等直接支払制度では、農業の生産条件が不利な急傾斜農用地及び同様の農用地と連檐した緩傾斜農用地を対象として農業生産活動の継続を支援するための制度である。旧建部町では緩傾斜農用地のみでも支給対象としていた。合併後もそのまま取扱いを継続していた。そういう中で、昨年の暑い夏だったと思いますが、森田議員と一緒に御津町、旧御津に行きいろいろの方とお話しする機会がありました。そこで、農業に従事されている方から、なぜ建部だけで緩傾斜だけの支給が認められて御津では認められないのかという質問いただき、そこですぐに回答ができなかったわけであり、旧建部町の取扱いがあつて合併した後もそのまま取扱いを続けていた。

御津はそういう取扱いしていなかったから岡山市に合併した後も取扱いはいないという話がありました。ちよつと不公平

だなどいうような思いを持ち、かつ岡山市内の他地域の状況も聞かせてもらいました。足守からも同じ要求が出ていたということを知ったわけである。そういう状況下に鑑みて、地域によって対象農用地が異なるというのはやはり不公平感を招くということになるのではないかと考えまして、今回担当と相談しながら全地域で緩傾斜農用地のみでも支給対象とする事とした。そういう制度変更によって、中山間地域等における農業生産活動の継続と集落の維持を支援していくという姿勢を明らかにさせて頂いた。

Q: 森田 卓司

制度を活用するに当たつてのスケジュール、制度説明の告知、事務処理が複雑なことへの対策についてのご所見を。

A: 産業観光局長

既に本制度に取り組んでいる地区には6月末までに事業計画の変更認定申請書を提出していただき、その内容を精査し合致していれば活用することができま。新たに取組みたい地区については、9月末までに市に御相談いただきたいと思います。既に取り組んでいる地区の告知については、制度変更の案内文を送付いたします。また、市の広報紙やホームページで周知を行うとともに、対象地区の支所、公民館などにチラシを配布するなど新規の取組を促してまいります。事務処理への対策については、事業計画書の記入例を作成するほか、必要に応じて説明会を実施するなど事務負担の軽減に努める。

令和3年8月定例岡山市議会個人質問

災害時の避難所等の運営について

Q: 森田 卓司

平成30年の豪雨災害時に比べると避難所の運営もスムーズであったと私は思ってい

ますが、どのような認識をお持ちか。

A: 大森雅夫市長

私は、平成30年の災害時に比べると避難所運営もスムーズであったということ、それに対する認識でありますけれども、評価していただいたと思います。私自身も、3年前に比べると随分この危機管理対応がスムーズにいったと思つていて。避難所と、避難情報を発令する地域の小学校、中学校、公民館を原則同時に開設する、また、明る時間帯に安全に避難できるような事前開設を実施、こういったことの措置によって市民の皆さんが安全な時間帯に円滑に避難できたのではないかと思つていて。

また、何人かの議員からお話があつたが、今回やつぱり用水路の水位の調整も事前に行つており、そこうまく機能したと思つていて。

旭川ダムの放流も、事前放流などをやらせていただいておりますが、議員の御指摘もありました。我々のほうも、その議員の認識を踏まえて、今後さらに検討していきたい。

ただ、今スムーズにできたと思し上げましたけれども、今回8月13日から15日の48時間降水量は151ミリでした。それに対して、3年前の7月豪雨は48時間雨量が史



おつかれさまです(コロナ禍の中での年末夜警)

上最大で307ミリであった。そういう意味では、今回の我々の措置で満足してはならないと思っている。他の地域はもつともつとすごい降雨量になっているので、我々としてもシミュレーションをきちつと重ねながら、もし万が一の大雨が来たときに対応できるように整理したい。

Q:森田 卓司

避難所運営等を行う指定職員、緊急初動班の配備体制についてお聞かせください。

A:危機管理監

指定職員は、避難所ごとに1班2名として複数班の職員を配置している。緊急初動班は、勤務時間外に岡山市で震度4以上の地震が発生した場合や津波注意報または警報が出された場合に指定された場所に出勤し、情報収集をはじめ必要な対応を行うもので、参集箇所までの距離がおおむね5キロ以内に居住する職員の中から選ばれた職員で構成している。

Q:森田 卓司

全避難所で何人の避難者か、把握されているか。

A:危機管理監

8月13日から3日間の避難者数についてです。

25か所の避難所を開設し、そのうち11か所の避難所へ73世帯124名の方が避難された。

Q:森田 卓司

コロナの収束を願うばかりですが、台風シーズンを迎えての避難所の感染拡大防止対策をお示しく下さい。

A:危機管理監

避難所にはアルコールや非接触体温計、フェースシールド、ソーシャ



米価下落の影響を受けた岡山市内の米販売農家へ補助金を交付(5月31日/切)

ルディスタンス確保のためのパーティション等を配備した。また、避難時には受付での検温や問診を行い、体調不良者の方は専用スペースへ案内します。さらに、定期的な換気や清掃、消毒、せきエチケットや手洗いの徹底など、感染防止に努めることとしている。

Q:森田 卓司

第2回目の避難所開設についてのメールで、避難を希望される新型コロナウイルス感染症の自宅療養者及び濃厚接触者の方は、避難所をお知らせいたしますので、岡山市の新型コロナウイルス受診相談センターにお問い合わせくださいと示されています。実際に受診相談センターに避難の相談はあったか。避難する場合はどのような場所を準備していたのか。

A:危機管理監

自宅療養者及び濃厚接触者の方から避難に関する問合せは今回なかった。避難所は、施設の立地、構造、十分な感染防止対策が取れること

などを考慮し、自宅療養者用に1か所、濃厚接触者用に4か所準備している。具体的な施設につきましては、感染者、濃厚接触者であることが特定されることを恐れ避難をちゅうちよされることを懸念されること、そして個人情報保護の観点から、非公表としている。

Q:森田 卓司

御津中学校、建部中学校が事前開設の指定避難所になりましたが、いずれも体育館が2階である。近くに御津小学校、建部小学校があり、避難場所も1階になっています。御津・建部地域では、障害者の方、高齢者等の方の避難を考えると、事前開設の指定避難所を小学校に変えるべきだと思う。また、同じように2階が事前開設の指定避難所になっている地域はほかにあるのかどうか。

A:危機管理監

事前開設する避難所は、要配慮者等の避難を考慮し、改めて開設場所を検討したいと考えている。また、2階が避難スペースになっている避難所は18施設です。

Q:森田 卓司

地元消防団は、避難指示を伝えるために車両より広報を行ったと聞いています。今回の活動に対して費用弁償などの出動手当は支給されるのか。

A:消防局長

今回の避難指示発令に伴う消防団車両による巡回広報については、消防団本部の指示により実施されたもので、条例に定める出動手当の支給対象となる。

再質問:森田 卓司

指定職員は、地域の事が良くわかっていて地元の職員が避難所に一

A:危機管理監

人は配置するべきではないか。ご質問の件は、以前からもいただいております。休日等々であれば、そういう方であれば早く着くんじやないんかということもありますので、このことについては引き続き検討する。



冒頭のご挨拶でも申し上げましたが、新型コロナウイルスに現在でも振り回されている現象が続いています。

そのような中ですが、昨年10月には市長選挙があり大森雅夫市長が三期目の当選を果たしました。

市長選後初めての議会で、新しくできた党派「自民党新政会」の団長として代表質問を行いました。本来ならこの議会報告の紙面で、代表質問項目に対する当局の答弁を掲載したかったのですが、これからの4年間の市長の政治姿勢についてを選択しました。

長い文章となり読むことも嫌になるとは思いますが、お暇があれば見て頂ければ幸いです。

尚、私のホームページの議会質問をクリックして頂ければ、インターネットの録画配信をしていますので、是も見て頂けると大変うれしく思うところです。



Morita Takushi

活力のある地域づくりを目指して!!

森田へのご意見・ご要望がありましたら...

TEL:(086) 722-2237・722-9900 FAX:(086) 722-9911

携帯電話:090-1337-2249

HP http://www.ta-morita.com/ E-mail:t-morita@po12.oninet.ne.jp

携帯 E-mail:t.morita926@gmail.com



	岡山市 人口			
	男	女	計	前年比
御津支所	4,094	4,338	8,432	-172
建部支所	2,386	2,683	5,069	-107
北 区 計	139,028	149,024	288,052	-630
岡山市 計	338,651	364,692	703,343	-4,373

インターネットで検索クリック!!

森田たくし

検索

令和4年2月末日現在